

令和5年2月吉日

保護者の皆様

豊田市立萩野小学校

校長 吉田 修

保護者アンケートの結果について（お知らせ）

立春の候、保護者の皆様におかれましてはご健勝のことと拝察いたします。日ごろは、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、昨年11月に実施させていただいた保護者アンケートの結果について、お知らせいたします。全ての家庭から、本校の教育活動に対する貴重なご意見をいただきました。これらのご意見は、共通理解のもと今後の教育活動に生かしていくため、全職員で検討しました。また、学校アドバイザーや教育協議会委員の方々にもご覧いただき、ご助言をいただきました。

今年度も、これまでの反省のもと、子どもたちの幸せと成長を願い、全職員が一丸となって教育活動を展開してまいりました。一年間、われわれ教職員が思い切って教育活動に取り組むことができたのは、ひとえに保護者の皆様の多大なご理解、ご協力の賜物です。心より感謝申し上げます。

このお知らせでは、ほぼ全てのご意見を原文のまま記載しました。一つのご意見に対しては、必ず別の観点からのご意見があります。学校としては、バランスを考えながら教育活動を進めていることをご理解ください。また、必要に応じて学校の方針や対応策を添えました。

今後も、学校、家庭、地域が共働して、萩野小学校児童の健全育成にまい進できるよう努めていきたいと思います。

今後とも、より一層のご理解とご支援を、よろしくお願ひ申し上げます。

保護者アンケートのご意見とその回答

1 学習面についてのご意見

- ・漢字、計算をもっと繰り返して学習させてほしいです。

小規模校の特性を生かし、一人一人の学力に合わせた学習指導を行っています。そのため、個人によって課題の量に差が生じることがあります。また、今年度よりタブレットで行うデジタル教材「Qubena」を活用しております。主に、授業では予習や復習に、また、長期休業中の課題として使用しています。今後も積極的にデジタル教材を活用し、基礎学力の向上を図っていきます。

2 生活面についてのご意見

- ・登下校中、竜岡地内の道路幅が狭く危険だと思います。

毎年、通学路調査を行い、豊田市に危険箇所等の現状を報告しております。今年度は、①県道33号線の法面で落石の恐れ ②小島プレス付近の大型車の通行 ③学校前の交差点 ④登下校の安全を確保するための保護者による送迎について報告をいたしました。

来年度も竜岡地区も含め、児童の通学に支障をきたすような箇所を調査し、市に報告をし早急に改善を求めていく予定です。

当面は登下校時の安全指導を強化すること、さらには共働本部と連携し、見回り活動の充実を検討していきます。

3 アンケートに関連したご意見

- ・学校内の様子であったり、先生の対処の状況だったりなど、日頃の様子がこちらではわからぬので回答に困りました。子ども自身もあまり学校のことを話さないので。

数年前までアンケート項目で多かったのが「わからない」でした。そのため、資料を添付させていただいたように一つ一つの項目が学校教育活動のどれに該当するのかを写真を掲載してわかりやすいようお示ししました。今後も活用していただけると幸いです。

教員の対処の状況については、できるだけ連絡帳や電話でお話しさせていただいている。ご不明な点がござましたら、遠慮なくお申し出ください。

尚、本校はホームページを授業日は必ず更新しております。特別な行事だけでなく、普段の授業の様子、休み時間の何気ない様子などもアップしております。ぜひホームページをご覧いただき、今日の活動についてお子様とお話されてはいかがでしょうか。

(文責 教頭)

◇保護者アンケートと学校自己評価の結果のお知らせ

アンケートへのご協力をいただき、ありがとうございました。結果をまとめましたので、教職員の行った学校自己評価の結果とあわせて知らせします。

○良いと感じている点

＜保護者アンケートから＞

- ・学校の教育目標や方針を、保護者にわかりやすく伝えている。
- ・特色のある教育活動（醤油、米づくり・三角山登山・子供歌舞伎等）が実施されている。
- ・学校からの便りや子どもとの会話により日頃の学校の取り組みが伝わっている。
- ・P T A活動並びに、学校公開日や学校行事等に積極的に参加をしている。

＜学校自己評価から＞

- ・校長が示す学校経営ビジョンマップ（3年計画の3年目）に基づき、全職員が共通理解の上で教育活動を行っている。
- ・特色ある学校づくり推進事業が児童生徒の教育活動に効果的であるとともに、150年記念事業を始めとする学校行事の計画や成果が広く理解されている。
- ・学校全体で多忙化解消が進められている。

△努力が必要と感じている点

＜保護者アンケートから＞

- ・子どもの基礎学力向上や生活習慣について心配している。
- ・児童が安全に登下校できる通学路の整備を要望している。

＜学校自己評価から＞

- ・I C T機器（タブレット等）の活用能力を高めることに関して、十分な指導ができていない。

上記のご意見や学校自己評価の結果を踏まえて

- 良い評価をいただいた点については、来年度も継続して取り組んでいきます。
- 特色ある学校づくりの取り組みについては、150周年記念行事と関連させたことで、地域とのつながりがより強くなり、学校、家庭、地域一体型の学校運営を行うことができました。今後も、少子化、実家庭数の減少を補うべく地域の力を最大限に生かした学校運営を継続していきます。
- I C T機器を積極的に活用できるよう、教員が学びあい、どの子でも「授業が楽しい」と思えるよう、指導方法や教材の工夫をします。
- 学校や地域で子どもを守り育てられるよう、地域共働本部と連携した通学路の安全指導を行います。